

子ども学科

【出題意図】

本課題は、子ども学科のアドミッション・ポリシーにある「ヒューマニズムの精神に基づき社会に貢献する意思を持ち、子どもと、子どもを取り巻く環境、様々な問題や文化状況に関心があり、子どもの健やかな成長・発達と生活を支えることのできる専門性の修得を目指していること」という箇所に該当する受験生であることを確認するものである。

次代を担う人材育成という重要な職責をもつ保育者を目指して、本学にて子ども学を学びたいと望む受験生が、子どもの遊び環境をめぐる社会的・文化的状況に関心を持って子どもの遊びの重要性を認識し、子どもの発達を捉え、自らの子ども時代を想像的に振り返りながら、遊びを豊かにできるかどうか確認したい。

さらに、それを具体的かつ他者にわかりやすく、論理的な一貫性をもって、規定された文章で簡潔に表現することができるという点も、あわせて評価したいと考えている。

(100点満点)

家族・地域支援学科

【出題意図】

家族・地域支援学科のアドミッション・ポリシーでは、「ヒューマニズムの精神に基づき、人間社会全体への関心とこれに貢献する意欲を持ち、子どもをめぐる環境や社会福祉、家族、地域、介護、学校内外での生活環境に関心があり、これらの分野に関わる職業を目指す入学者を求める」と示しているが、本課題は、このアドミッション・ポリシーに該当する受験生であることを確認するものである。

特に、本学において子ども学を学びたいと望む受験生が、どの程度子どもや子どもをめぐる環境、生活環境について関心があり、どのような視点を持っているのかを見ることをねらいとする。また、出題で問われていることを正確に理解する読解力と、自分の考えをまとめて文章へと練り上げる表現力と論述力が求められる。

(100点満点)

子ども心理学科

【出題意図】

本課題は、子ども心理学科のアドミッション・ポリシーにある「人間の心理発達と心理的支援に関心があり」という箇所に該当する受験生であることを確認するものである。

次代を担う人材育成という職責を持つ保育者を目指し、本学科にて子ども心理学を学びたいと望む受験生が、自分の子ども期の体験等を踏まえて子どもの健やかな心の発達に寄与するような物理的・社会的環境の重要性を認識し、より良くしたいという熱意や創造性を持っているかどうかを確認したい。

さらに、それを具体的かつ他者にわかりやすく、論理的な一貫性をもって、規定された文章量で簡潔に表現することができるかという点も、あわせて評価したいと考えている。

(100点満点)

教育学科

【出題意図】

本課題は、教育学科のアドミッション・ポリシーにある「学校教育ならびに教育にまつわる諸課題に関心があり」という箇所に、該当する受験生であることを確認するために設定したものである。また、入学後を見据えて、学科のディプロマ・ポリシーにある「学校教員としての使命と倫理を深く自覚」できる資質を有する受験生であることも確認を進める意図がある。

今日の学校現場が直面している課題を正しく認識し、その課題に対して、自らの考えに基づいて課題解決に取り組もうとする姿勢を有しているか、記述内容から評価したいと考えている。

(100点満点)

保育科

【出題意図】

本課題は、保育科のアドミッション・ポリシーにある「高等学校等での国語等の基礎学力があり、十分な保育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人」という箇所に該当する受験生であることを確認するものである。

保育所保育指針・幼稚園教育要領では、幼児期の子どもの保育の方法として「子どもが、自発的・意欲的に関わられるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること」、「乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育すること」が大切であるとの記述がある。

一方で子どもと遊ぶことのできない大人や、幼少期に遊んだ経験を持たない大人が増えているとの指摘もある。保育者として子どもと関わる際に、自身の子どもの時代の遊び体験を振り返り、「遊び」の大切さ、遊びのとらえ方、大人のかかわりについて考えることができるかを確認するとともに、入学後の学びの必要性に気づいてほしい。

また、具体的に他者にわかりやすく、論理的な一貫性をもって、指定された文章量で簡潔に表現することができるかという点も記述内容から評価したい。

(100点満点)